

お客様紹介

ECO・カーステーションK 様

〒699-1251

島根県雲南市大東町大東2402

TEL 0854-43-6773

FAX 0854-43-6739



スタッフの新田様と昭和39年製トヨタ パブリカ (800CC)。車は野々村社長の秘蔵品で、エンジンは今でもかかります。



木材をふんだんに使った店舗外観と店内の様子。木のかかりにいやされ、長時間いても疲れを感じません。

8月11日オープンしたばかりの新店舗は、次世代自動車をメインに、国内全メーカーの車を取り扱っています。中古・新車を問わず車の販売、エンジンオイル・オイルエレメントの交換、タイヤ交換などのクイック整備、車検整備の窓口としてしています。

ECO...その

環境への取り組みの一つで、県産材を使って店舗作りをしています。(消防法の関係で、整備工場部分は一部鉄骨です。)木材を使用することによって、CO2の排出量はトータルで十分の程度に抑えられると試算しています。木がふんだんに使われ、そのぬくもり、かおり、リラックス効果を感じてください。

ECO...その

整備ではエコオイルを使用しています。排気ガスを規制値に抑えることができます。電動式のオイルガンで数量を打ち込めば、その数量だけオイルが出てくる仕組みです。



「地域に根ざし、心のよりどころとなるような店舗にしていきたい」と野々村店長から、心強いお言葉をいただきました。

(聞き手 長野)

オイルガンを手にする、野々村店長。環境に優しい整備をしていきます。



電気のコンセントを手にする、野々村店長。ECOな工夫が随所に見られます。

『新しい発想』

当店舗は、開発地域に建てられ、バイパス沿いにあります。バイパスが完成すれば、人や車の流れが変わり、さらに増客が期待されます。

店舗2階には会議室が設けられ、地域の人たちに開放する予定です。店舗はバリアフリーで、エレベーターも完備しています。お年寄りや車椅子利用のかたも安心して利用できる店舗です。

ECO...その

EV充電装置が3箇所設置されています。今はまだ充電施設が少なく、電気自動車をお使いのお客様は不安です。いつでも充電可能な環境をつくり、電気自動車の普及につとめます。

『スマートグリッドの発想』

電気自動車から電気を取り出すことにより、自社での電気をまかなうことができます。一般家庭において、アイ・ミーブ(三菱自動車)なら1.5日、リーフ(日産自動車)なら2日分の電気供給能力があります。停電時や災害時に役立ちます。



「山陰の自然に心を癒やされる」

鳥取営業所を開設してから、鳥取へ向かう事が多くなった。昔と違い、一部区間を除いてではあるが自動車専用道路になっており、時間もかなり短縮される。

先日、湯梨浜町のお客さま訪問のために、「青谷羽合道路」を通らずに9号線を青谷へ向かった。

旧羽合町から国道は穏やかな日本海を望みながら、海岸線を通り青谷に入った。青谷に着くまでにガソリンスタンドや飲食店など、店を閉めているところが目立つ。青谷の町に入ってもすれ違う車も少なく、人寂しい感じがした。

道路が整備され、車での移動は便利になったが、そのために車の動線が変わり、以前は繁盛していた国道沿いの商店も今はその姿がない。

青谷でのお客さま訪問を終えて「魚見台」まで移動した。そこから見える日本海はまさに絶景で、ここでしか見られない心が癒やされる風景である。私たちは、このような素晴らしい自然に恵まれた山陰で仕事ができることに感謝しなければならない、と改めて思った日でした。(安原)



「マンガで親しむ出雲神話 オオクニヌシ」を読んで

私は改めて出雲神話オオクニヌシをマンガで読んでみた。画があると神話のような現世にない人々の生活や神々の話がとてもわかりやすく、ずっと頭に入る。もちろん一気に2冊読んだ。とても不思議な話ではあるが、今も当時からある地名や神々をまつっている神社が残っている。

今年は、古事記編纂1300年で、島根県は大社町で神話博が開催されている。せっかくなので一度は訪れようと思っている。でも残念なことに、私は山陰に住んでいながら、古事記のことを少ししか知らない。これでは博覧会も楽しめないし、山陰が好きでこの町に住んでいる人として古事記の一つも語れないようでは恥ずかしく思う。

このたびこの本に出会い宍道の名は大国主命が、猪を犬に追いかけてきたところ、2匹の猪は石になってしまい、追いかけていた犬も石になった。猪が通った道だから宍道というようになった。石宮神社にその石があることを初めて知った。古事記はおもしろい。

(山口)



地元智頭町の杉材を使って、地元の大工さんに郵便ポストをつくって頂きました。周囲の景観とマッチし、とても気に入っています。(大國)



鳥取・智頭町の様子を随時お知らせします。

元気の出る言葉

幸福や幸運というものは
自分がよびよせなければ来やしない

中村天風師

自分の人生を価値高く活かそうと思ったら、他力本願で生きてはダメです。幸福も健康も成功も、あなた自身のなかにあるのです。幸福や幸運は積極的な心もちのひとに宿るといふことです。自分のどんな運命に対しても、どんな健康に対しても積極的になり常に前向き姿勢でいこう。(長野)



「ヘクソカズラ」昔から非常に臭いということになっていてこの名がついたようです。花はとても可愛いのですが・・・

社長が薦める今月の一冊

学び直す日本史 古代編

日本博学倶楽部著 PHP研究所刊



「弥生時代にあたる前4世紀頃、大陸から青銅器、少し遅れて鉄器が日本に伝わり、やがてこれらは日本列島でも製作されるようになりました。(P22)」

京都国立博物館で「大出雲展」を観てきました。いちばん観たかったのは荒神谷遺跡の銅剣と加茂岩倉遺跡の銅鐸。見た瞬間数の多さと仕上がりの精緻さに「おお〜っ」と圧巻されました。

なぜ京都まで行って観たのか？それは出雲以外で、しかも京都という日本の文化の中心に位置する国立博物館で、どのように陳列されているかを感じたかったのです。出雲の文化に最高の敬意を払った展示でした。

このように私たちのこの地には、紀元前4世紀の昔から遠く離れた朝鮮や中国から金属の精錬技術を学び、形にする。そして祭器とか工具、農具として使うという高い文化がありました。

私たちの周辺の至る所には、このような貴重な歴史的遺産が大切に遺されています。私が大好きな遺跡の一つに、大山町の妻木晩田(むきばんだ)遺跡の高床式倉庫(復元)があります。弥生時代始まった稲作の収穫した米の貯蔵庫として丘の上に誇らしげに立っています。

2千4百年以上も前の文化遺跡が今でも遺っているこの地を、私たちは誇りに思います。(山根)

蔵書新着情報

- ・君の思いは必ず実現する 稲盛和夫 財界研究所
- ・こうして会社を強くする 稲盛和夫 PHPビジネスクラス
- ・負けない! クルム伊達公子 ポプラ社
- ・日本の神話 いなばのしろさぎ あかね書房
- ・日経ビジネス 2012.8.6-13合併号 日経BP社
特集 沖縄経済圏アジアを引きつける新産業の衝撃
成長の解は「外」にあり
オープン化がもたらすモノ作り革新

編集後記

皆さん、糸瓜をご存知ですか? 通称ソーメンカボチャともいいます。5センチの輪切りにしてゆでます。



20分位して身に箸が通るようになれば茹であがりです。不思議なことに均一な太さの繊維状にほぐれ、まるで麺のようです。シャキシャキした歯ごたえで、三杯酢などにつけて食べます。

7月〜9月に収穫されますが、冬まで貯蔵ができます。最近では市場にも、ちらほら出回るようになりましたが、見た目や味覚から言って、夏場の涼を楽しむ食材といった感じです。

低カロリーで水分を多く含み、ダイエットにも有効な食材で、何よりも暑い夏にさっぱりと食べられ、季節感を感じられるところが良いと思います。(長野)

「数珠玉(ジユズダマ)」
熟して黒くなった実を数珠として利用したことからこの名前になったようです。ジユズダマは秋になると黒く熟してきます。ハトムギとよく似ていますが、ハトムギは縦に線が何本もあります。



今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で**2名の方にしませね神話博の入場券(ペア)**を差し上げます。クイズの締切は9月末です。奮ってご応募下さい。

Q: 9月30日は、十五夜(中秋の名月)ですが、旧暦の〇月〇日でしょうか?



先月号の答は、「水木しげる、谷口ジロー、青山剛昌」でした。米子市 大原様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

発行日: 毎月10日
発行: 690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472
山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野
E-mail : h.nagano@e-skk.co.jp
印刷: 授産センターよつば 印刷係

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

山陰興業蔵書本をお貸しします 本誌で紹介した蔵書本等、広く皆様にお貸し致します。営業マンや当編集部に遠慮無くお申し付け下さいませ。

ECO'S 通信

2012
9月
Vol.232



『感動』

入社してよかった!

8月25日、島根県手をつなぐ育成会交流研修会で、藤原社員が体験発表を行いました。本会の目的は、福祉にかかわる人たちがいきいきと生活できる地域社会の構築を目指して、県内各地区手をつなぐ育成会会員及び関係者が活発な情報交換・研究協議を通じて連携を強めていくことを目的に開催されています。



タンク配達のために、特注された、パワーゲート付軽トラックです。安全性・利便性ははかり、お客さまのところに安全に早くタンクをお届けします。

藤原社員の発表は次のくです。

「出雲養護学校高等部1年の10月、先生の勧めで職場体験実習で山陰興業を訪れました。初めてで、最初はどきどきして話もできませんでした。しかし、周囲の人たちがあたたかく迎えてくださり次第に話もできるようになりました。冗談を言って笑わせていただいたり、いつも声掛けをして気遣っていただき、こんな職場で働きたいな、と思うようになりました。・・・

会社の方針で、いろいろな免許をとりました。危険物免許やアーク溶接などなど。いまの仕事をするのに必要で、がんばってよかったと思います。仕事で得意なことは、タンク塗装です。「タンクの塗装だけはうまいな」と言われます。(抜粋)

入社4年目のいまでは、タンク配達の段取りも自分でやってくれます。色々なことに

果敢に挑戦し、たゆまぬ努力をし、それをベテラン社員たちが支えます。

以前、出雲養護学校進路指導部の先生からも、応援メッセージをいただいています。「面倒なこと、汚れることをもいとわず、真っ黒になりながら、地域のお客さまのところで仕事ができることを喜び、それを良き社風として、誇りとまでいっていただいています。このことは教職員にとって大変名誉なことであり、喜びであります」

いつも笑顔で礼儀正しく、彼の堂々とした発表に胸がいっぱいになりました。よくぞここまで成長してくれました。

彼を支え、育ててきた周囲の方々、これからもよろしくお願ひします。(長野)

(藤原社員の晴れの舞台に編集者自身が感動してしまいました。)



一つにまとまれば、大きい力になる

・周りから、お客さまから素晴らしいといわれる社員と会社になる・

社長 山根久志

M社様の夏期工事が、8月11日からスタートし、19日の工期内で、安全に終了しました。しかも今年は気温が35度を超える高温続きで心配したものの、作業者の健康についても無事でした。

毎日岸本リーダーからはメールで詳細な日報が入り、手に取るように現場の状況の報告を受けました。それも現場の状況によっては遅く23時過ぎて受信する。

複雑な工程とか、突発的にイレギュラーが発生した時、どのように対応し解決したのか。報告が600字を超える時もあり、リーダーとしてまず鳥の目で全体を見渡し、一つ一つの段取りを決める。結果現場の混乱をなくし、メンバーを一つにまとめている様子がよく判りました。彼がリーダーシップの基本を遂行してくれていたのです。

ところが好事魔多し。想定外の複雑な構造に、工程を遅延させる心配が発生しました。しかし構成メンバーのうち、経験豊富なベテランはごく少数。もちろん工事の安全施工で、その上工期内に完工するこ

とを約束しました。

この思いがけない事態が発生した時に、岸本リーダーの沈着な状況判断と作業員への的を射た(注)指示が始まりました。そしてそれに呼応して担当社員はもちろん他からの応援社員、それに事務所で後方支援をする複並社員達に緊張感が走りました。

お客さまにご迷惑をかけたくない。お客さまにもっといい仕事をしよう。お客さまのために皆の力を一つに合わせよう。と全員が瞬間考え、力を合わせてくれたに違いありません。

工事後M社様の安全担当者さまから「プロだね」と評価していただいたと、N部長さまから聞きました。

このように私たちは、誰かが飛び抜けて優れた力を持つことを目指すではありません。社員同士が力を合わせ、一点集中することで大きい力にする。「一つにまとまれば、大きい力になれる」を目指して欲しい。

(注：まとをいた。物事の肝心な点を確実にとらえるの意)

私はこう考え、こう実行します

【安原】お客さまの要望に応える為に、目標を常に明確にして、皆の力を集結する。

【松下】リーダーとして大切な鳥の目を持つ事。意識付けしながら自分のものにする。

【河上】小さいトラブルでも全力を尽くす。

【岸本】一つにまとまるように部内のコミュニケーションをとり、声をかけあう。また報告交換を日報や口頭により密にとりあう。

【福間】収集マンとのコミュニケーションを、私からもっと取る。

【福島】構内の美化に努める。

【木村】エマルジョンプレーカーの使い方を熟知し、製品の品質アップと処理力アップにつなげる。

【吾郷】収集マンも心一つにして、他社に負けない心を築く。

【大國】収集チームのチーム力を高める。

【木村憲】得意な事を伸ばす。

【石橋】お客さまに迷惑を掛けない仕事をする。

【複並】どんなに忙しくても皆で協力をし、力を合わせて仕事に取り組みます。

【岡田】チームの一員として力を合わせます。

【山口】私は今後も社員同士力を合わせ、いい仕事をします。

【松本】安全意識を高めて作業します。

【横地】常にプロ意識を持ち安全運転、安全作業で事故ケガのない様につとめます。

【植尾】チームワークをもっと大切にする。

【高橋】私は、目的を見失わないように、その日の実験前、後に目的とはと考え行動します。

【長谷川】お客さまのためにもっといい仕事をします。

【小村】一人作業なので、安全に作業することはもちろん、スキルを磨いて大きな力を付けていく。

【恩村】報・連・相を忘れずチームワークを第一に考えます。

【藤原拓】毎朝、事務所の玄関がきれいであるようにする。

【藤原大】もっと仕事の経験をかさね、皆の力になります。

【金森】社員と協力して、お客さまにご迷惑を掛けないようにします。

【加島】一つ一つの仕事に責任を持って、取り組んでいきます。

【中村】作業の流れの中で、リーダーからの指示を受け止め、自分は何をすべきかを考え、優先する作業から実施します。

【清水】私は、チームワークを良くして色々な仕事に生かして行きます。

【足立】私は、大きな力のひとつになる様、自分の役割をしっかりと果たします。

【長谷川真】お客様の事を考え、常に責任を持って対応します。

【長野】お互いに助け合い、皆の力が最大限発揮できるように力を合わせます。



鳥取営業所 初引き取り

8月17日、鳥取営業所の初原料引き取りが行われました。当タンクには、お客さま先から回収した、使用済みエンジンオイルが貯蔵されており、ゴミや水分の少ない、状態のいい原料が集められています。

どのくらいで貯蔵タンクからタンクローリーに移送できるか時間を測定し、タンクローリーの停車位置、貯蔵タンクからタンクローリーまでの配管・吐出配管の漏れの確認、車両の取り回しの確認を行いました。すべて予定通りの工程で終了しました。



今後においても安全作業を行っていきます。

(木村)



～工場内の改善～

デカンタ型連続式遠心分離器の更新時期が来ており、代替えデモ機によるテスト運転が行われました。今回のテストでは、私たちが求める結果は出てきませんでした。日々変わるいろいろな原料を試料として、その効果を確認しないと判断がつかかねるところがあります。メーカーの報告をもって、再考してまいります。



、再考してまいります。

(松下)

しまね神話博へ行こう!!



大人気のしまねっこのフワフワドームが迎えてくれます。

奈良時代に書かれたとされる風土記は、現在5つ残っていますが、ほぼ完全な形で伝わっているのは、「出雲国風土記」だけということで、大変誇らしいことだと感じます。

今年は古事記編纂1300年、古事記の3分の一を占める出雲神話には是非、興味をもってほしいと思います。

しまね神話博は、古代出雲歴史博物館とその周辺がメイン会場です。当博物館は、「出雲国風土記」を手がかりに当時の暮らしを紹介し、さらに古代出雲の歴史を学ぶことができます。

まず目に入るのが、出雲大社境内で2000年に発見された3本1組の宇豆柱の実寸模型です。1本の直径が約1.35mもあり、その大きさを体感することができます。また、出雲大社の神殿は48メートルもあったといわれていますが、10分の1のスケールで復元され、その姿は壮大です。また、荒神谷遺跡から出土した358本の銅剣、加茂岩倉遺跡から出土した銅鐸な



古代の本殿が10分の1で復元されています



加茂岩倉遺跡から出土された銅鐸(複製)

ど(いずれも複製)、それらの展示品は圧巻で、古代出雲の歴史に胸が躍ります。

博物館前の特設会場において、神話の世界を体感できる「神話映像館」は、大型スクリーンに映し出される映像とスサノオノミコト演じる舞が勇壮で臨場感たっぷりです。また、神楽や安来節などの郷土芸能やしまねっこダンスが行われる「しまね魅力発信ステージ」では、日替わりで、各地に伝わる伝統神楽などを楽しむことができます。

この出雲の地は、10月に神様が集まってこられるところです。それゆえ、私たちの生活には、神話をゆかりとする古い文化、伝統が根付いていると感じます。地名などもそのまま残っているところもあります。それをたよりに各地を歩いてみると、原風景に出会えるかもしれません。

(長野)



日替わりで上演される伝統神楽



勢溜前にできたご縁横丁。9つの店が入り、とても楽しそう!!